

綾瀬川を観察しよう



学習のねらい

○川のかたち、水の流れ、川の周囲の土地利用状況等の観察から、綾瀬川の姿を学ぶ。

綾瀬川の水辺の環境を、川のまわりや生き物の様子から採点します。各々の項目でつけた点数の合計点が、その川の得点になります。点数が高いほど自然な状態が維持された川です。



中流①



中流②



下流

空から見た綾瀬川。中流、下流と向かうほど川のまわりには住宅、工場が増え、人工的な河川空間となります。川の自然度の採点も、一般的に、上流が点数が高く、下流に向かうほど低くなります。

①川のかたちは？

自然の川は曲がっていて、瀬や淵があること。川底もでこぼこしていること。またそれゆえに汚れをきれいにする自浄作用があること等に関連した視点です。

<p>3点</p> <p>川原があって、その中を曲がりくねって流れている。</p>	<p>2点</p> <p>川原や土手もあるが、まっすぐに流れている。</p>	<p>1点</p> <p>コンクリートのかべのなかをまっすぐ流れている。</p>
--	---	---

②川の流れ方は？

川の水量が豊かで、流れがあるほうが川が汚れにくいこと。また、綾瀬川は非かんがい期になると水田からの水が無くなり、水量が減ること等に関連した視点です。

<p>3点</p> <p>いつもたくさんの水が流れている。</p>	<p>2点</p> <p>水はあるが、流れがなくなっているようなかんじがする。</p>	<p>1点</p> <p>少ししか水は流れていない。</p>
--	--	---------------------------------------

③川の水の量は？

川の周囲の土地利用状況の違い。水田や畑が多い場合、汚れにくく、住宅や工場が多い場合、汚れやすいことに関連した視点です。

<p>3点</p> <p>林や田畑が多く、家はほとんどない。</p>	<p>2点</p> <p>田畑もあるが、家もある。</p>	<p>1点</p> <p>家や工場などが、いっぱいある。</p>
---	--------------------------------------	---

④水辺の生き物

水生植物が生えていたほうが、生き物が生息しやすいこと。また川のかたち、流れや周囲の様子と生き物には深いつながりがあるといったことに関連した視点です。

<p>3点</p> <p>川岸には草や木がいっぱいはえ、魚や鳥もたくさんいる。</p>	<p>2点</p> <p>川岸には草がはえ、何か生き物がいる。</p>	<p>1点</p> <p>草も生えてなく、生き物もほとんどいない。</p>
--	--	--

⑤ごみの量は？

川のごみの量だけでなく、ごみの種類にも注意して下さい。

<p>3点</p> <p>ゴミが見あたらない。</p>	<p>2点</p> <p>カンやビンなどのゴミが少し見られる。</p>	<p>1点</p> <p>カンやビンなどが多く見られ、大きなゴミもある。</p>
------------------------------------	--	---